

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 宮城県石巻西高等学校

【テーマ】 I II III **IV** V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

「世界との対話と協働プロジェクト ―石巻西高 contribution program―」

【実施学年、部、講座等】

第 学年（男子 名・女子 名）

第 学年（男子 名・女子 名）

【目的・ねらい】

1 実践のねらい及び取組のポイント

『ねらい』

・自分たちが取り組んでいる防災と社会貢献活動について、国内外に積極的に発信すると共に自己実現に向けたプログラムを行うことで、他人を思いやる心と実践力を身に付けさせ、グローバルな視点を持つ地域のリーダーを育成する。

『取組のポイント』

・自己有用感を味わわせ、他者理解を深めるプログラムを実践することで、他人を思いやる心と実践力を身に付けさせることができる。

【種類】(当てはまるものに○)

・各教科（ ） ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・特別活動

・教科以外での取組（ 行事 ）

【実践内容等】

2 ねらいを達成するために取り組んだ内容

■アジア・オセアニア高校生フォーラム発表（11/4～7 和歌山市）

アジア・オセアニアの20カ国の高校生と、災害や温暖化など喫緊な世界共通の課題について意見交換を行う。本校は日本代表として、大津波がどのような被害をもたらしたか、またその対策についての提案を行いました。

[アジア・オセアニア高校生フォーラム発表]

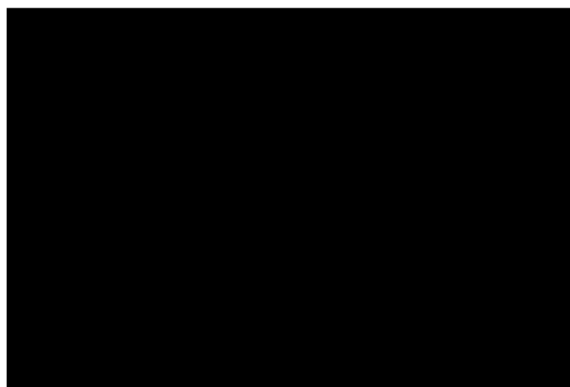


■防災ワークショップ開催（7/27 東松島市内各市民センター）

本校の生徒達がカードゲームを使った小学生向けの防災ワークショップを開きました。東松島市の小学生が多数参加し、遊びながらカードに書かれた防災の知識を学びました。このゲームは、東日本大震災の教訓を生かしてつくられた「たすカルテット」を使うもので、同じ仲間のカードをそろえたり、カルタのように読まれた札を取り合ったりして遊ぶものです。当日は「遊び」に重点を置き「教える」ことを前面には出しませんでした。参加した小学生からは「地震の時に役立つことがあり、これからも遊びながら考えたい」といった感想も寄せられました。

なお、本校と東松島市は「防災教育共同事業に関する覚書」を締結し、今後も地域の子どもたちの自助力の向上や防災教育の充実につとめていくことにしています。

[防災ワークショップ]



■外部講師講演会開催（2/19本校体育館）

「夢をかなえるためのからだづくり」と題して、女子栄養大学大学院栄養学研究科栄養学専攻修士課程食生態研究室「宇野薫氏」による講演会を行いました。オリンピック選手やミス・ユニバース出場者への栄養指導などの経験をもとに、食事の重要性について話をしていただいた。ヘルスリテラシ

一を高めることによって、自身の将来設計に大きな影響があることや、適切な食事を摂ることによって、自分にとっての大事な日（部活の試合、大学入試、就職試験など）に最高のパフォーマンスができる身体づくりにつなげることができることなどについて、具体的にどのような食べ物が良いかということを押さえて説明していただいた。



3 実践から得られた成果

■防災ワークショップ参加生徒アンケートから

- ・小学生たちは災害が起きたときにその場面や状況によって身近にあるものの中でどれが使えるかを真剣に考えていました。それぞれ自分の意見をしっかりと言いつつ、他の人の意見も聞いてみんなで話し合っていたので良かったです。小学生ならではの自由な発想がたくさん出てきて、とても楽しく学習することができました。私が思っていたより小学生たちは防災についての知識があることが分かって驚きました。もし災害が起きてしまったときは、今回の学習で学んだことをきちんと生かしてほしいと思います。
- ・最初はとっても不安で緊張していました。自己紹介の時もみんなが真剣に私たちを見ていましたが、質問をたくさんしてくれたおかげですぐに打ち解け合うことができるとも安心しました。やっぱり小学生は打ち解けるのが早いなと思いました。打ち解けてくれたため、進行も最後まで取り組むことができました。その中で私はサポートをするのですが、すでにみんな自分の意見や考えを持っており、すぐに行動に移すことができていました。ちょっと悩んでいる子もアドバイスをするとすぐにペンを持って書き始めたのですごいと思いつながりながら見ていました。私たちがいるにも関わらず緊張しないでいつもの通りできていたので、私たちもやり易かったです。この機会ですべてについて一緒に考え、いざと言うときに役立てていってくれたら嬉しいと思います。

もしまたこのような機会があれば、防災を通して子どもたちとつながりたいと思います。今日は小学校の授業という本当に貴重な時間でとてもためになりました。

■外部講師講演会生徒アンケートから

- ・「健康は親からもらった宝物」という言葉が印象的だった。あと「一年で1000回の食事の結果があなたたちの結果」という言葉。16年間生きてこられたということ、毎日食べてこれたということに感謝して一日一日を生きていきたいと思った。やせすぎも太りすぎもダメだということで、自分の身長に合った体型になりたいと思った。ごはんは野菜中心が良いといわれるが、野菜だけというのもダメだと聞いて、野菜はもちろん肉や白米もバランス良く食べようと思う。
- ・私は食べるのが好きなので、しっかり三食食べている反面“やせたい”という欲求もありましたが、食べなさすぎるのも危険なことと改めてわかりました。今年からは自分で夕食を作るようになったので、今日の食材に関する話はとても興味深かったです。何気なく「赤・黄・緑」の食材を3食摂れていたと思うので良かったです。これからも意識して献立をたてたいと思います。春からは大学に家から朝早く出て通うのですが、しっかり余裕をもって起きて朝ごはんをきちんと食べて勉強に励みたいです。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

4 今後の課題と取組み

生徒の発信力と国際理解力をつけるために、「高校生国際フォーラム」開催し、海外の高校生と共通の課題について意見交換を行い、共同宣言を世界に発信する予定である。